



# 歯科保健医療国際協力協議会

## 2023年度報告書



### ご挨拶

新生JAICOHをよろしく  
お願いいたします！ p. 1

### 研修のご報告

久々に開催できました！  
p. 3～

### 会費納入のお願い

皆様のご登録、ご入会を  
お待ちしております！ p. 9

# ご挨拶

歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）は、「歯科の国際保健医療協力を語る会」を前身として、1990年に歯科保健医療を中心とした国際協力の立案、実施を行うとともにその背景にある栄養・食生活の改善について調査協力を行うことを目的に、カンボジア、ソロモン諸島、ミャンマーなどでの協力活動を行う団体としてスタートしました（初代会長村居正雄）。2000年（第2代会長深井穫博）からは、初代会長の意思を受け継ぐ一方、（1）口腔保健に関する国際協力分野で活動する団体や個人の情報交換と連携のための連絡協議会開催とニュースレターの発行、（2）人材育成のための小規模国際協力活動の助成、を主な事業内容として新たな体制での活動が始まりました。それ以降、日本各地の歯科保健分野で国際協力に関心を持ち、あるいはすでに活動されている個人や団体が集い、情報交換などを行う場として、国際協力を行っている団体や個人の間での連絡協議と、情報発信に努め、個人や団体の活動要請があれば支援すること。海外での活動に興味を持ち、これから活動したいと考えている人々への支援と情報提供を行うことを軸として現在も活動しております。

このような中、本会の一部の会員が2022年11月に、協議会を離脱し会則に沿わない手続きで新たに日本歯科保健医療国際協力学会を立ち上げました。このため現会員である歴代会長は、従来通りの趣旨で会則に則り責任をもって継続運営して参りました。以前のホームページは、削除されたため2023年4月28日に新たに立ち上げました（<https://www.jaicoh.com>）。

会員の皆様のご尽力により2023年5月28日には春の研修会を開催する事が出来ました。2023年7月2日には総会及び学術大会を開催し、この様な不祥事が今後二度と起こらないよう対処する為、本会をNPO法人化する事に同意を頂きました。たくさんの講演発表もいただき学術大会を開催いたしました。2023年8月18日に埼玉県よりNPO法人化の認証をいただき、2023年8月31日に新たに非特定営利活動法人歯科保健医療国際協力協議会として発足する事が出来ました。2023年10月29日臨時総会に、非特定営利活動法人歯科保健医療国際協力協議会として発足した事を会員の皆様にご報告し秋の研修会を開催いたしました。

JAICOH名称及びロゴマークは初代会長村居正雄先生の基で作成され、第2代会長に引き継がれ用いられてきました。今回の非特定営利法人の設立を機に、その考案者である初代会長から、私達の協議会の活動を支持する旨の表明があり、2023年11月28日にJAICOHロゴマークの著作権利用許諾証書を取り交わしました。

発展途上国においてボランティア活動をする際によく問われる事があります。私達はその国の人々のより良い口腔の健康に寄与する為に活動しますが相手国の人々は自分達を研究の材料にされるのでは？との疑問を投げかける事があります。あるいは自分の技術向上のために練習したいとボランティア活動に参加して下さる方もあります。私達は相手国の人々の口腔の健康に寄与したいと考え国際協力を行っています。物事ははき違えてする活動をしないよう今後とも協議会の活動を通じて会員の皆様と共に発展途上国の口腔保健活動をする為の情報交換の場を提供し会員相互の親睦を深めたいと考えていますのでふるってご参加ください。

非特定営利活動法人歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）  
Japan Association of International Cooperation for Oral Health  
河村康二，白田千代子，深井穫博

## 役員名簿

代表理事 河村康二  
副代表理事 白田千代子，深井穂博  
理事 遠藤真美，河村サユリ，河野伸二郎，内田千鶴，齋藤孝平，根木規予子  
監事 松原清吾（2023年11月まで），黒田耕平



## NPO法人ポータルサイト情報

内閣府NPO ホームページにて、『特定非営利活動法人歯科保健医療国際協力協議会』の行政入力情報を誰もが閲覧できます。

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/011091646>

2023年9月1日から埼玉県のHPにあります“新設NPO法人紹介”にも掲載されています。

[https://www.pref.saitama.lg.jp/b0102/nanbukenmin/npo\\_new\\_shokai/npo\\_sikahokenni\\_ryoukokusaikyouryokukyougikai.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/b0102/nanbukenmin/npo_new_shokai/npo_sikahokenni_ryoukokusaikyouryokukyougikai.html)

## ホームページを立ち上げました！

新しくホームページを立ち上げました。URLは、  
<https://www.jaicoh.com>です。

内容は、以前のホームページと同様に、オンタイムで情報が伝わるようにするとともに過去のJAICOHの活動などをご参考していただけるように誰もがダウンロードできるJAICOHレターのページ等も設置しています。ぜひとも、ご活用ください。



# 2023年 JAICOH 春の研修会

2023年5月28日（日） ワイム貸会議室お茶の水

14:35～ 講演①

JAICOH, Japan and me

Kyu Kyu Swe Win 教授

Retired Professor and Head,

Department of Oral & Maxillofacial Surgery,

University of Dental Medicine, Myanmar

15:30～ 講演②

東南アジアとの国際交流・学術交流で得られたもの

柳田陵介 先生

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

摂食嚥下リハビリテーション学分野

17:00～懇親会

## 柳田陵介先生抄録

演者は2013年に東京歯科大学に入学し、在学中は衛生学講座にてフッ化物の基礎研究に打ち込んでいた。その一方で国際交流にも興味を持ち、APDSA（アジア太平洋歯科学学生会議）にて日本代表を経験した。卒業後は東北大学病院での1年間の臨床研修を経て、2020年に東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野に入局した。入局後は摂食嚥下リハビリテーションおよび高齢者歯科の領域で研究に取り組むほか、2022年には3か月間、タイのNaresuan大学に留学している。本講演では一若手歯科医師である演者が学生生活6年間・歯科医師生活4年間の計10年を通じて国際交流について感じたことや、今後取り組んでゆきたい活動について話をしたい。



## 《 参加者からのメッセージ 》



### 2023年 JAICOH 春の研修会に参加して

日本歯科大学附属病院 葛生悠貴

2024年5月28日(日)、お茶の水ユニオンビル(東京都)にて、2023年JAICOH春の研修会が行われました。最初の講演では、ミャンマーからKyu Kyu Swe Win教授(Professor & Head, Department of Oral and Maxillofacial Surgery, University of Dental Medicine, Mandalay, Myanmar)が来日され、4年ぶりに「JAICOH, JAPAN & ME」と題して、みずからの経歴を、日本やJAICOHとの出会い、人とのつながりに焦点を当て、講演をいただきました。本講演のなかで、Win教授は、海外で活躍するためにはまず、みずからが健康で安全であること、さらに友人の輪や、助け合いが大事であることを実体験に則した形で説明してくださいました。歯を磨く時にもミネラルウォーターを使った方がいいこと、飲み物に入っている氷、特にビールに氷が入っていることもあるので注意が必要であるというお話しはとても印象的でした。また、日本人が国際援助を行ううえで、外国語の能力が低い傾向にあるという問題点も挙げてくださいました。通訳を通すと言葉の本意がうまく伝わらないことも多いため、文化の違いを理解するうえでの言語習得は重要であると教えてくださいました。さらに、国際協力による歯科保健医療の発展のためには若い人の努力が必要であると最後におっしゃっていました。

次に、柳田陵介先生(東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野)より、「東南アジアとの国際交流・学術交流で得られたもの」と題して、大学時代から現在までの、さまざまな活動で得られたものについて講演をいただきました。みずから動くことで、人との良い出会いが生まれるということ。また、本講演には学生が参加していたということもあり、学生時代には、大学の勉強が最優先ではあるが、他分野に目を向け、語学の勉強をしておく方が良いと強く訴えていました。さらに、タイミングの重要性を述べ、好機が訪れて迷ったら、とりあえず掴んでみることで、たとえ失敗したとしても、しっかりと振り返ることは必要であるが、深追いをしないことも大事であるという言葉はとても心に響きました。

今回、Win氏、柳田氏、両名の話聞き、私自身、学生時代に海外での国際交流を経験し、コミュニケーションの難しさを経験していたということもあり、とても身に染みた話でした。今後、好機を逃さぬよう、さまざまなものに目を向け、積極的に行動していきたいと感じています。最後に、今回、貴重なお話をありがとうございましたWin教授、柳田先生をはじめ、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

# 2023年 歯科保健医療国際協力協議会 総会 学術大会

2023年7月2日(日) お茶の水ワイム貸会議室

13:00～ 開会挨拶

13:10～ 特別講演

歯科国際協力の未来 深井穂博 先生 (ネパール歯科医療協力会)

14:40～ 団体発表 VTR発表

「30年続くモンゴルとの歯科医療協力」

—激変する草原の国で何をし、今どうなっているか—

黒田 耕平 先生 (日本モンゴル文化経済交流協会)

口 演

・ ROSAS Rotary Operation Share a Smile

ロータリー一緒に笑顔大作戦 フィリピン口唇口蓋裂手術ボランティア

河野 伸二郎 先生 (神奈川歯科大学南東アジア支援団)

・ サモアでフッ化物洗口

古瀬 大治 先生 (ルマナイサモア)

・ Think Globally, Act Locally. デンタルミラーから世界を見る

～長期・短期国際ボランティア経験から学んだことを今に活かす～

藤瀬 多佳子 先生 (大分県口腔保健センター)

紙面発表

・ 沼口 麗子 先生 (カムカムクメール)

・ 根木 規予子先生 (ネパール歯科医療協力会)

・ 内田 千鶴 先生 (南太平洋医療隊)

16:10～ ディスカッション

16:40～ 閉会挨拶

※11:00～理事会, 12:00～総会を同会場で開催

※※ 抄録集はHPから、ご覧ください。

歯科保健医療国際協力協議会  
JAICOH

2023. 7. 2  
総会・学術大会  
歯科国際協力の未来像とは

プログラム	
日時	2023年7月2日
	13:00～17:00
	受付開始 12:30
	懇親会 17:15
参加費	一般: 5000円
	学生: 無料
問い合わせ・連絡先	
歯科保健医療国際協力協議会	
河村康二、白田千代子、深井穂博	
jaicoh2023@gmail.com	
ホームページ	
<a href="https://www.jaicoh.com/">https://www.jaicoh.com/</a>	
13:00	開会挨拶
13:10	特別講演「歯科国際協力の未来」 深井 穂博先生 (ネパール歯科医療協力会)
14:40	団体発表
	黒田 耕平 先生 (日本モンゴル文化経済交流協会)
	河野 伸二郎先生 (神奈川歯科大学南東アジア支援団)
	古瀬 大治 先生 (ルマナイサモア)
	藤瀬 多佳子先生 (大分県口腔保健センター)
	沼口 麗子 先生 (カムカムクメール)
	根木 規予子先生 (ネパール歯科医療協力会)
	内田 千鶴 先生 (南太平洋医療隊)
	他
16:10	ディスカッション
16:40	閉会挨拶

会場: ワイム貸会議室お茶の水

登録フォーム  
<https://forms.gle/ExtEsDv4Kuaaw5A>

当日まで、ご参加可能です。  
QRコードから登録の上、参加をお願いします。

## 《 参加者からのメッセージ 》

### 2023年 第33回歯科保健医療国際協力JAICOH総会・学術大会報告

南太平洋医療隊，日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座 遠藤眞美

第33回歯科保健医療国際協力協議会の準備から携わりながら，4年ぶりに完全対面で開催できました。今回は，お忙しい中にもかかわらず国際協力を長年継続している団体の皆さまから御発表いただくことが叶いました。この場を借りて，ご発表いただきました皆様に感謝申し上げます。以下に，当日の様子と自身の想いをお伝えしたいと思います。

最初の特別講演では，JAICOHの第2代会長でもあるネパール歯科医療協力会の深井穂博先生から『歯科国際協力の未来』というお話を伺いました。世界人口は80億。先進国では教育の充実と共に少子高齢化，開発途上国では高い出生率と乳児死亡率という死因や健康寿命の差という出生地域による健康格差がある現実とその格差是正がグローバルヘルスの究極の課題であり，その実現にはエビデンスの構築と発信が重要と述べられました。また，海外だけに注目するのではなく，国際協力を行うにあたっては自国である日本での疫学研究への理解を強調されました。例として，1989年に始まった当初は国民に向けたキャンペーンであった8020運動が，歯数の増加だけでなく，“食べる・話す・笑う”といった口腔機能向上を促し，健康長寿の実現に寄与している可能性をあげ，現状では8020達成をした日本社会自体がエビデンスとなり，タイの健康目標に8020達成が採用されたことを紹介されました。8020運動開始から30年以上経過している日本において歯を守ることに疑問を抱く国民は少ない。しかし，国際協力でトンガ王国に初めて渡航した際，“抜歯は無料”だからと日本では保存処置がなされるであろう歯の抜歯が行われるのを見て切なくなったことを思い出しました。お話をお聞きして，たとえ現地活動ができなくても，8020運動の良い効果を実感している私たちが日本国内外で日ごろから，その効果を意識・啓発することがグローバルヘルス実現に向けた国際貢献の第一歩になると再認識しました。

各団体からの発表で共通事項として感じたのは，国際協力は互いの国の文化，食生活，制度などの生活環境，宗教観や死生観の対象国の現状を知ろうとすることから始まり，そして，課題に合わせて公助・共助・自助的な対応を臨機応変に変化させるためには，対象国や出会えた人を尊敬しながら心と心のコミュニケーションが不可欠であるということです。誰とも意見を交わさずに実施しようとするれば，情報収集が乏しくなったり，課題を見誤ったり，対策が偏る。場合によっては，日本側の自己満足完結型の医療提供になりかねません。だから，活動には仲間が必要なのだと。そして，仲間は決して同じ活動団体や対象国で共に活動する仲間だけではないと思う。

(次頁につづく)

4年という久しぶりのJAICOH参加で、多くの仲間と再会することができた。また、これから活動したいという想いを熱く語ってくれる歯学部や歯科衛生士養成校の学生さんたちにもお会いできた。私は、初めて約20年前にJAICOHに参加した時をなぜか思い出した。縁あってトンガ王国で南太平洋医療隊の一員となり、隊長の河村先生から他団体の活動も知ると良いとお誘いを受けてJAICOHに参加したあの時に。その際、国内に国際貢献に関心を抱いている歯科医療者の多さと参加者の情熱に正直、驚き、自分の視野の小ささに恥ずかしい気持ちのような何とも言えない気持ちを抱いたのを覚えている。世界から見れば日本という小さい国で、それも歯科という限られた領域で業をなす歯科医療者が、多くの国が存在する広い地球を宇宙から見たひとつの地域のような感覚でとらえ、日本も含めた世界中の健康や幸福な人生に関して各国で純粋に歯科医療者としてできることを検討し、語り合い、各々が最大限に実践（しよと）していた。そこには年齢や性別、立場や役職など関係なく、純粋にお互いに敬意を示しながら互いの話に耳を傾けている仲間しかいない。気付けば、その空間にのめりこみ、結果的には毎年参加するようになった。JAICOHでの出会いや学びは歯科医師のプロフェッショナリズムとは何かを繰り返し考え語り合える機会となり、私の歯科医師人生に大きな影響を及ぼしたと共に国際協力がライフワークのひとつになるきっかけとなっている。今の私にとっては、JAICOHは自分歯科医療者として誠意をもって真摯に生活しているかと説いてくれる大事な居場所である。かなり熱くなってしまいましたが、第33回JAICOHを通してface to faceで継続されてきた意義を再実感すると共に、次のJAICOHで多くの仲間との出会いを楽しみにメッセージを締めくりたいと思います。



# 2023年 JAICOH 秋の研修会

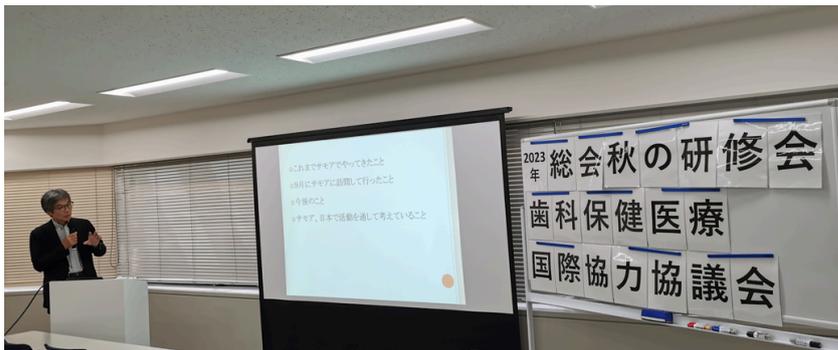
2023年10月29日（日）

TIME SHARING 新御茶ノ水

14:00～開会

14:10～14:30 総会

14:35～15:35 講演①



サモアでのフッ化物洗口と歯周治療

浦崎裕之先生(ルマナイサモア：歯科医師)

15:40～16:40 講演②

トンガ王国における25年間の歯科保健活動

内田千鶴先生(南太平洋医療隊：歯科衛生士)

河村サユリ先生（南太平洋医療隊：歯科医師）

16:40～16:50 ディスカッション

16:50 閉会・写真撮影

## 《 参加者からのメッセージ 》

### 2023年 JAICOH 秋の研修会に参加して

増田 愛子

2023年10月29日（日）、歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）主催「秋の研修会」が都内で開催され、海外諸国における活動の報告並びに意見交換が行われました。

講師は、LUMANAI SAMOA共同代表 浦崎裕之先生（浦崎歯科医院 院長）、南太平洋医療隊の内田千鶴先生（河村歯科医院 歯科衛生士）と河村サユリ先生（河村歯科医院 歯科医師）で、今回は南太平洋での活動をお聞きすることが出来ました。

浦崎先生からはサモア・サバイ島内の小学校におけるフッ化物洗口並びにクリニックでの予防歯科普及活動、内田先生・河村先生からはトンガ王国国内における歯科技術移転協力活動を中心に、先生方の長期にわたる活動内容をはじめ成果や苦悩、COVID-19パンデミック前後の環境変化、今後の展望について幅広く情報を共有いただきました。

活動国や内容は異なりますが、両団体の活動理念に共通する点は多く、その中でも、いかに自己満足で活動が終わらないようにするかサステナビリティを強く意識しておられ、地元の人々が主体となって活動を継続できるよう、さまざまな配慮をされている点が特徴的であるように感じられました。実際、パンデミック時には日本からの隊員派遣は2年間以上中断されていたものの、地元住民による基本的な活動は止むことはなかったようで、世界的にも稀なのではと思います。

講演後には積極的なディスカッションが行われ、特にパンデミック後における協力対象国各国の急激な変化の様子や対応方針等、今後国内外で活動予定の参加者にとって有意義な場となりました。

COVID-19 パンデミックが落ち着いた今後は、より一層協議会から国際協力について学び、理解を深めることで活動時の心の拠り所としていきたいと思っています。



## 会員登録と会費納入のお願い

歯科保健医療国際協力協議会は2023年8月に特定非営利活動法人の登録が認証され、現在、協議会としての機能をますます高めるために活動しております。

会員の皆様には昨年度（2023年度）までの会員歴や年会費の振り込み先などについて、混乱した方もいらっしゃるかと思います。ご迷惑をおかけしました。

会員継続および新入会のご希望の皆様につきましては、改めて会員情報を更新をさせていただき、2024年度の年会費（4月～3月）の納入をお願いしたいと思います。

継続・入会をご希望される皆様は、下記 구글フォームへのご記入をお願い申し上げます。

・会員登録入力フォーム→<https://forms.gle/d9xzxEW8dpDVzggN6>

・入会金 なし

・年会費 賛助会員：10,000円

正会員：5,000円

学生会員：無料



<ゆうちょ銀行から窓口で(現金又は口座から)振り込む場合>

『電信払込み請求書・電信振替請求書』を用いてお振り込みください。

【記号】 11440

【番号】 04245821

【名前】 特定非営利活動法人歯科医療国際協力協議会

【フリガナ】 トクヒ)シカホケンイリョウコクサイキョウリョクキョウギカイ

※口座からお振り込みの場合は通帳とお届け印が必要となります。

<ゆうちょ銀行からATMで振り込む場合>

【振込先】 ゆうちょ銀行

【記号】 11440

【番号】 04245821

【名前】 トクヒ)シカホケンイリョウコクサイキョウリョクキョウギカイ

<他金融機関から振り込む場合>

【店名】 一四八 (読み イチヨンハチ)

【店番】 148

【預金種目】 普通預金

【口座番号】 0424582

【振込先】 ゆうちょ銀行

# JAICOH会員および所属団体からの 活動報告

《南太平洋医療隊》

南太平洋医療隊(SPMT) 2023年9月の活動報告

南太平洋医療隊 歯科衛生士 内田千鶴

南太平洋医療隊はトンガ王国（以下、トンガ）における歯科保健プログラムとして、フッ化物洗口や歯肉炎及び歯周病予防、生活習慣病予防を中心にマリマリ(スマイル)プログラムを実施しています。

トンガでは、コロナ感染防止のため入国規制がなされていたうえに、2022年1月には海底火山噴火、続いて発生した津波被害など、長期間トンガ訪問が困難な状況を経て、今回2023年9月13日～9月26日にTongatapu本島、Vava'u諸島を訪問しました。

## ＜ババウ諸島での活動＞

計5校の中高等学校全学生を対象に歯科検診、歯周病に関する質問調査を実施しました。受診の必要がある生徒には、電話番号を聞いて後日予約をしていくという流れを作り、受診することを本人任せにしないようにしています。また、緊急性がある場合は、その場で予約を与えました。以前は日本人隊員中心で事業が実施されていましたが、常時共同で活動を進めたことにより、今ではトンガマリマリチームが主体となり、検診用紙や器具の準備、片付け、集計まで全て自立したスタイルが出来ていました。

マリマリプログラムの小学校巡回の視察においては、フッ化物洗口とNHKラジオ体操は継続して行われていました。NGU（ババウ）国立病院歯科室では、う蝕治療、外科処置のみならず、超音波スケーラー使用下で歯周病治療にも取り組んでいました。



中高等学校歯科検診



学校検診道具をボックスにて管理

### <トンガタプ本島での活動>

VAIOLA国立病院歯科では新しく採用された、デンタルアシスタントの卵たちが、研修を兼ね各ユニットで歯科診療の見学及び用意等を手伝っていました。人材が増えたことにより歯科は活気づいており、小学校巡回時にも十分な人材確保が出来ていました。

今回フッ化物洗口剤、フッ化物歯面塗布剤、超音波スケーラーのハンドピース、その他歯科材料等を寄贈しました。資器材の確保にはまだ自立できていない面もあるため近隣国から確保できるルート作りを今後もフォローアップしていきたいと思えます。

### <マリマリプログラムの成果>

トンガ王国保健省歯科が南太平洋WHOのAwardに「Malimali (Smile) Project-School-Based Fluoride Mouthrinse in Tonga Schools since 2000」を応募し、「THE WHO HEALTHY ISLANDS BEST PRACTICE RECOGNITION」を受賞しました。WHOにて歯科保健が受賞したのは初めてのことです。

表彰式にて歯科医であるスシ先生がプレゼンテーションを行い、翌週、国連のユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)のハイレベル会議において発展途上国の歯科疾患予防のモデルとしてそのプレゼンテーションがビデオ放映されました。

南太平洋医療隊が1998年からトンガでボランティア活動を開始し25年となり、“マリマリプログラム25周年記念式典”がトンガマリマリチーム主催で盛大に祝典が開催されました。プロジェクト開始当初の元保健省大臣や現保健省大臣、在トンガ日本大使、WHO職員、JICA所長、小学生に教師など100名近くが出席の下、トンガマリマリチームによるマリマリプログラムのプレゼンテーションが行われ、これまでの歩みや成果が語られました。トンガマリマリチームや小学生による歌や踊りも披露されました。また、式典にて披露されたNHKラジオ体操は「TAISO」と呼ばれ小学生にフッ化物洗口と共に慣れ親しんでもらっていることを実感しました。マリマリプログラムは歯科スタッフの活躍により、多くの子供たちがう蝕から守られ、体を動かす習慣が身につく、生活習慣病予防へと繋がっているとの思いが強くなりました。UHC「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」システムが持続可能となるように今後もサポートしていきたいと思えます。



マリマリプログラム25周年記念式典



トンガ王国保健省歯科がWHOより受賞

## <海底火山噴火及び津波による被災のその後>

2022年1月15日、トンガの海底火山で起きた大規模な噴火により津波が押し寄せました。海沿いの建物が倒壊したほか、海底ケーブルが損傷して電話やインターネットの通信が困難になり、火山灰で飲み水が影響を受ける等、トンガ全土に被害が出ました。現在トンガは復興回復に向かっており、津波対策等インフラ整備に取り組んでいます。孤島のアタタ島も大きな被害を受けた島の一つで、住民は本島の内陸に国が新たに建てた住居へ移住していました。ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



倒壊した海沿いのレストラン跡地



アタタ島住民の新たな居住地



## 《神奈川歯科大学南東アジア支援団》

### フィリピン口唇口蓋裂手術ボランティア事業報告

神奈川歯科大学南東アジア支援団 理事 河野 伸二郎

フィリピンにおいて口唇口蓋裂手術ボランティアを始めて22年になります。スタート当初は神奈川海外ボランティア歯科医療団（KADVO）の一事業としてはじまりました。現在は横須賀ロータリークラブとセブロータリークラブとのジョイント事業となっております。

したがって、横須賀ロータリークラブより非医療関係4名、医師2名、歯科医師7名、歯科衛生士1名、歯科技工士1名、計15名の構成となりました。

2023年のプロジェクトは11月13日から11月19日の日程で、フィリピン、セブ市、VisayasMed Hospital Cebuにて行われました。13日と19日は移動日、成田セブの直行便です。行きと帰りでは異なりますが大方4時間半のフライトです。14日15日16日17日18日の5日間が手術実施日です。初日の14日午前中は手術室の準備と、応募された患者さん方28名の診察です。午後より2名の手術から始まりました。

患者さんの体調や疾病の種類によって全員が手術可能ではありません。今回は23名の患者さん方に手術することができました。抜糸並びに保護プレートの除去は、現地の歯科医師に任せております。我々の帰国後1週間から10日で抜糸等終了し、全員経過良好で写真が転送されてきました。この事業が実現したこと、そして22年にわたり継続できたことは、もちろん久保田元神奈川歯科大学学長はじめご協力いただいた日本の先生方のおかげですが、Dr.Chua その他現地の素晴らしい先生方のカウンターパートとしてのご尽力も多大な要素であります。

今回、日本から参加いただきました術者は以下の通りです。

久保田 英朗 元神奈川歯科大学学長

内山 健志 東京歯科大学名誉教授

栗田 憲一 愛知学院大学名誉教授

覚道 健治 大阪歯科大学名誉教授

皆様70は優に超えていらっしゃると思いますが、数時間要する手術を一日複数回こなされ、体力気力とともにそのホスピタリティー精神に敬服いたします。

この活動にご興味のある方はご連絡ください。学生さんでも構いません、ご一緒しませんか。簡単ではありますが、2023年の活動報告とさせていただきます。

# 理事会（打合せ）

年 月 日	内容（方法）	参 加 者
2023年4月6日	管理・運営に 関して（Zoom）	河村康二，深井穫博，白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年4月17日	管理・運営・総会準 備（Zoom）	河村康二，深井穫博，白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年5月15日	管理・運営・研修会 準備（Zoom）	河村康二，深井穫博，白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年5月28日	総会（対面）	河村康二，深井穫博，白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平
2023年6月5日	総会・学術大会準備 （Zoom）	河村康二，深井穫博，白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年6月13日	総会・学術大会準備 （Zoom）	河村康二，深井穫博，白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年6月21日	総会・学術大会準備 （Zoom）	河村康二，深井穫博，白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年7月2日	総会（対面）	河村康二，深井穫博、白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年8月31日	管理・運営に関して （Zoom）	河村康二，深井穫博、白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年10月13日	管理・運営・研修会 準備（Zoom）	河村康二，深井穫博、白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2023年10月29日	総会（対面）	河村康二，深井穫博、白田千代子，遠藤眞美，河村サユリ 内田千鶴，河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2024年2月5日	管理・運営に関して （Zoom）	河村康二，深井穫博、遠藤眞美，河村サユリ，内田千鶴 河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2024年2月26日	管理・運営・研修会 準備（Zoom）	河村康二，深井穫博、遠藤眞美，河村サユリ，内田千鶴 河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子
2024年3月11日	管理・運営・研修会 準備（Zoom）	河村康二，深井穫博、遠藤眞美，河村サユリ，内田千鶴 河野伸二郎，齋藤孝平，根木規予子

## 編集後記

2023年度の歯科保健医療国際協力協議会(JAICOH)の開催は、長い間お待ちいただいた上で再開された価値ある機会となりました。顔を見ての直接の対話や議論を通じ、私たちは再びその重要性を実感することができました。各国、それぞれの立場での経験、知見を共有させていただき、さらなる発展、ステージへの展開を感じました。これまでの会員の皆様に加え、次世代の若者にもご参加いただけたことにこの協議会がさらなる発展を遂げることに繋がればと心より願っています。皆様のご支援と協力に感謝申し上げます。

根木 規予子

歯科保健医療国際協力協議会 (JAICOH)

発行日：2024年5月

発行者：歯科保健医療国際協力協議会 (JAICOH)

連絡先：jaicoh@gmail.com

HP:<http://WWW.jaicoh.com>

無断転載・複製・複写を禁じます。

印刷所:株式会社エビス

